

# 令和元年度西成区運営方針自己評価 説明用資料

令和2年度第1回情報発信部会

令和2年7月30日

令和元年度 重点的に取り組む主な項目のうち情報発信部会該当項目

経営課題		戦略	具体的取組
2	にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり	1. 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化	2. 西成区魅力発信事業
		2. 地域活動の支援強化	1. 地域コミュニティ支援事業
			2. 緑化推進事業
		4. 人権尊重のまちづくり	1. 人権尊重のまちづくり
3	防災・防犯・安全対策	1. コミュニティ防災力の強化	1. 地域防災活動事業 －地区防災計画作成を通じた地域防災力の向上－
			2. 地域防災活動事業 －地域防災の担い手の発掘・育成－
		2. 防犯・安全対策の推進	1. 防犯対策事業
			2. 自転車等安全利用啓発事業
		3. 空家等対策の推進	3. 空家等対策推進事業

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり  
**具体的取組2-1-2 西成区魅力発信事業**

30予算額	1,271千円	元予算額	1,731千円
-------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
区のイベント等の参加者や区内の宿泊者等へのアンケートにより、区内の歴史的な名所などを知っていると答えた割合	50%以上	55.7%

達成

**取組実績**

- 「西成しごと探偵団」を実施
- 観光マップの外国語版の作成  
英語・中国語(簡体字):各1,500部
- 小学校への出前授業の実施、マップを掲載したクリアファイル作成、「にしなり銭湯スタンプラリー」実施、マップのJR新今宮駅配架など
- SNS発信回数 40回以上



西成しごと探偵団



外国語版観光マップ



出前授業



クリアファイル

## 経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

### 具体的取組2-2-1 地域コミュニティ支援事業

30予算額

64,515千円

元予算額

64,515千円

目標	目標値	結果
本市の実施するアンケートにより、まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合	88%以上	約90%

達成

#### 取組実績

- 地域一丸となって、様々な事業や行事等に取り組めるよう、中間支援組織を活用しながら地域活動協議会の支援を行った。
- 組織運営や、会計処理にかかる支援
- 新たな担い手の確保、他のさまざまな活動主体との連携・協働、及び地域公共人材の活用にかかる支援
- 地域課題やニーズの把握と解決に向けた支援(地域カルテ活用支援等)
- 多様な市民活動をサポート出来るよう説明会における市民局の支援ツールも含めた情報提供

## 経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 具体的取組2-2-2 緑化推進事業

30予算額	1,674千円	元予算額	1,674千円
-------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
区民モニターアンケートにおいて、「お住まいの地域での地域活動(地域で行われる催し物、事業等)に関心がある」と答えた区民の割合	30%以上	35.7%

達成

### 取組実績

- 種から育てる地域の花づくり事業の実施 年3回地域へ出荷(年間約53,000株)
- ボランティアの意見交換会の設定 年9回
- ボランティア募集チラシの配布(区内イベント実施時) 年2回
- 花の講習会の実施 年6回
- ボランティア養成講座の開催 年1回

### ボランティアによる活動



花講習会



地域の花壇へ植え付け



経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり  
**具体的取組2-4-1 人権尊重のまちづくり**

30予算額	2,000千円	元予算額	2,000千円
-------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
人権を考える区民のつどい、人権講座のアンケートで「事業の内容に満足した」と回答した参加者の割合	70%以上	人権を考える区民のつどい:91.7% 人権講座:96.7%

達成

**取組実績**

- 人権を考える区民のつどい(2回)
- 人権講座(2回)
  1. “わたし”からはじめるじんけん講座～気づきから築きへ
  - 2.初めて学ぶLGBT
  - 3.(3回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 西成区広報紙への人権コラム掲載(年4回)



人権講座「初めて学ぶLGBT」

# 経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 自己評価のまとめ

## ◇地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

区民や区のイベント参加者が「西成区の地域資源を活かした取組みが、にぎわい創出やまちの活性化につながっている」と感じる割合は高い。今後は西成区のイメージを向上するプロモーションの充実をはかり、さらに新たなにぎわいを創出して、地域の活性化につなげる必要がある。

## ◇地域活動の支援強化

地域活動協議会の自律的な運営に向けて、中間支援組織を活用して支援を継続し、組織運営や会計処理などの基礎的な分野では全ての地域が自主的に行えるようになるなど、成果をあげている。また、地域課題に応じた活動の実施についても客観的データ「地域カルテ」を活用した取組みが進められ、地活協と外部団体との連携により自主財源の確保に向けた事例も生まれている。

一方で、地域活動協議会の担い手の発掘・人材の育成といった分野では、それぞれの地域の実情に応じた支援の構築が進んでおらず、更なる取組みが必要である。

現在の地活協への支援として行っている組織運営や会計処理の他、客観的データ「地域カルテ」の活用や自主財源の確保に向けた支援を継続することで、地域コミュニティの活性化に資するよう取組みを進めていく。

## ◇人権尊重のまちづくり

人権に対する意識については、人権啓発推進の取組みを継続的に実施することで変わってきているが、区民一人ひとりの人権意識が向上している実感できるまでには至っていない。引き続き、多様な機会を通じて区民に対して広く人権啓発推進の取組みを進めていく必要がある。